

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 9月 12日

大分県知事 殿



提出者

住 所 大分県中津市耶馬渓町大字金吉5197-16

氏 名 脇坂 和義

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	脇坂 和義
事業場の所在地	大分県中津市耶馬渓町大字金吉5197-16
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	牛 213頭
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 自ら堆肥化 動物の死体 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ <u>27</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	<u>2799.1</u> t	t
①現状	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	<u>2799.1</u> t	t
②計画	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

動物の 糞尿	① 現状	【前年度（27年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	2799.1t	
		(これまでに実施した取組) ・堆肥化		
	② 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	2799.1t	
		(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

動物の 糞尿	① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
	② 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(年度) 実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
		【目標】	
②計画		産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(28年度) 実績】	
① 状		産業廃棄物の種類	
全処理委託量			2.8t
優良認定処理業者への 処理委託量			t
再生利用業者への 処理委託量			t
認定熱回収業者への 処理委託量			t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			t
(これまでに実施した取組) ・動物の死体は委託業者へ委託処理			

【目標】		
産業廃棄物の種類		動物の死体
全処理委託量		2.8t
優良認定処理業者への 処理委託量		t
再生利用業者への 処理委託量		t
認定熱回収業者への 処理委託量		t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

②計画